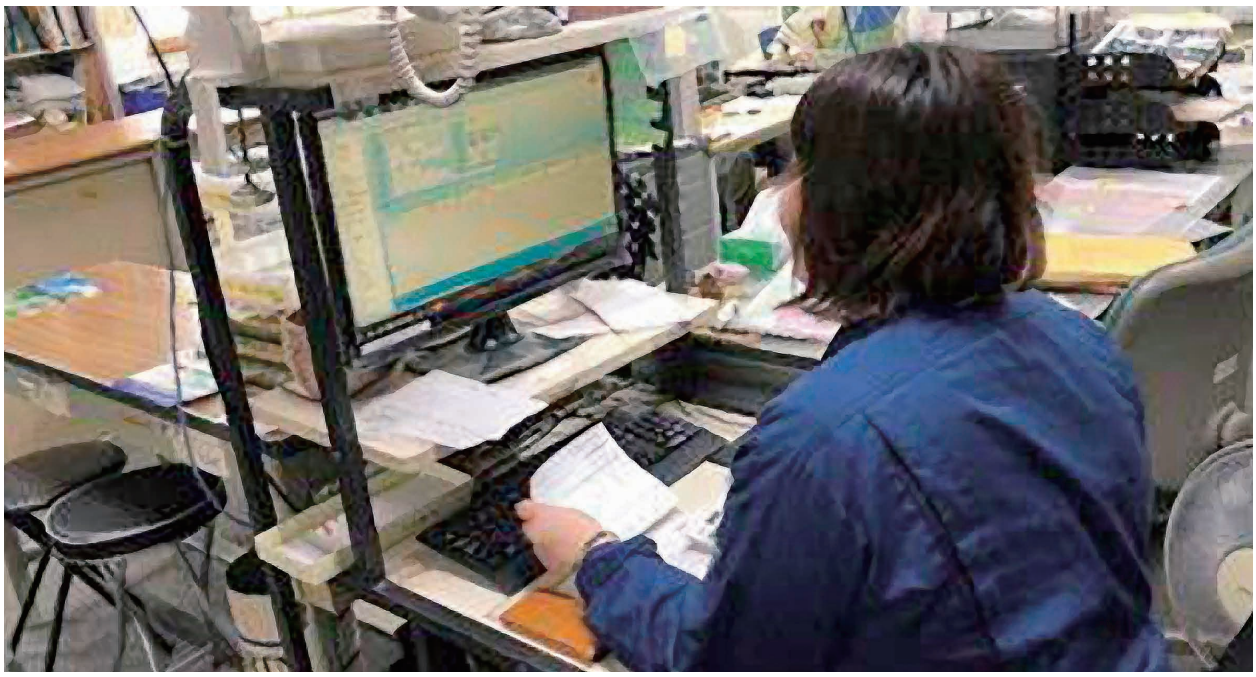
設備投資

管理システム導入で高品質・低コスト・短納期を実現し事業を拡大

生産管理システムを導入することにより、設計からアフターケアに至る全行程の内容及び進捗等を全従業員が共有し、全体最適化を図ることで顧客ニーズに対応し、品質・コスト・納期に係る競争力を強化して事業を拡大する取り組みを実施した。



管理システム入力作業風景

PURPOSE
事業目的

受注から納品、さらにアフターケアに至る一連の工程の見える化を図り、一元管理による全体最適化を実現することを目的とする。この取り組みにより一層の品質向上と顧客ニーズである短納期・低価格に応えることで付加価値を高め、競争力を強化し、トレーサビリティを実現することによって事業の拡大をめざす。

MOTIVES
製品開発のきっかけ

当社の強みである設計・製作においてはオーダーメイドの製品が多いため、顧客の増加・多様化に伴う様々なニーズに対し、タイムリーかつ適切に対応することが難しくなっていた。顧客との窓口は担当者1人で対応することが多く、その担当者しか詳細が分からず、適切な工程管理や社内伝達に課題があり、失注や納期遅れが発生していた。また、以前受注した案件でも、一元管理できていないため、再度設計から同じ作業を繰り返すこともあった。エクセルを使って管理してみたが、全行程の一部しか把握できず、入力ミスも多く、うまく機能しなかった。

TARGET
製品開発の目標

時代の流れであるIT化に対応するため元々手書きで管理をしていた部品在庫管理をデータ化し、システム的に管理をすることで、今までは手書きをしていた人しか分らなかった部品在庫数を、誰でも簡単に状況確認が出来るようになった。システム管理を行うことで、よく使用する部品の使用頻度などを分析でき、部品在庫発注点などを登録することにより現物確認をせず発注できる状態を実現出来れば、発注作業の簡素化が実現できる。最終的には倉庫に保管している部品全てを登録し、どこに何がいくらあるのかを誰でもすぐわかるようにする。

DETAIL & POINT

製品開発の内容

◆設　　計:エクセルで作成していた部品表などの過去の設計データを生産管理システムにインポートし、データベース化する。
◆在庫管理:標準品の部品・仕込み部品を管理する。
◆部品調達:在庫管理で自動照合の結果、不足品を発注する。
◆外注管理:外注先ごとに材料在庫・納品状況の管理を行う。
◆生産工程:バーコード付の作業指示書に作業手順が記され、進捗管理をリアルタイムで行う。
◆納品管理:納品状況管理を行い、データベース化し、蓄積する。

標準部品倉庫管理

RESULT

本事業の成果

◆部品在庫管理
部品在庫の置き場所がすぐに検索でき、もの探しがほとんど無くなった。仕掛数も管理できるため、まとめて部品製作をするための基準がわかりやすくなった。
◆受注案件の管理
工程管理のための受注状況一覧を簡単に作成できる事で、毎週最新情報を社内共有することが可能となった。
◆原価管理
製作途中の製品のリアルタイムな原価を出せるため、価格交渉が行いやすくなった。

PROSPECT

今後の展望

◆既存事業の拡大
本事業の成果により、製鉄メーカーや自動車整備工場向け設備メーカーをターゲットとして受注拡大を目指す。
◆新事業への展開
(1)電動シリンダ:製鉄設備の既設品の修理、メンテナンスに力を入れながら設備の自動化を提案したり、高寿命化の改造提案を行い、ユーザとの関係を深める。
(2)エネルギー関連:クリーンセンター向けの自動操業への採用や遠隔地管理などの開発を行う。また、木質バイオマス、バイオガス発電への技術参入を目指す。

KEY POINT

ココがポイント！

どこの会社でもありがちな営業、設計、調達、製造の情報共有への課題が、システム導入により円滑に行えるようになった。

ホワイトボードでの工程管理

工番ごとの部品棚

CORPORATE DATA

事業者概要

ユニテック工業株式会社

住所:広島県福山市松永町6-22-5
電話番号:084-933-4027
URL:http://www.uniteckg.jp/

代表者名	田口　暁穂
設立	昭和61年1月8日
資本金	1,000万円
従業員	28人
事業内容	一般産業用機械、装置製造業

取締役社長
田口　裕司

更なる成長へ向けて

このような企業からのご連絡お待ちしております

電動シリンダ、テーブルリフターの特殊品等の敏速な対応、一緒に開発に取組む姿勢で日々取り組んでおります。
駆動に関しての実績と経験も付いてきました。装置や自動化に向けた設備の検討でお困りの時はぜひお声掛けをお願いいたします。また、小規模な地域のエネルギー循環型社会の実現に向けて木質バイオマス、メタンガスを活用したバイオガス設備開発に関わりたいと思っています。エネルギー関係での研究開発を行っていきたいです。